

# 三郷町水道事業経営戦略【概要版】

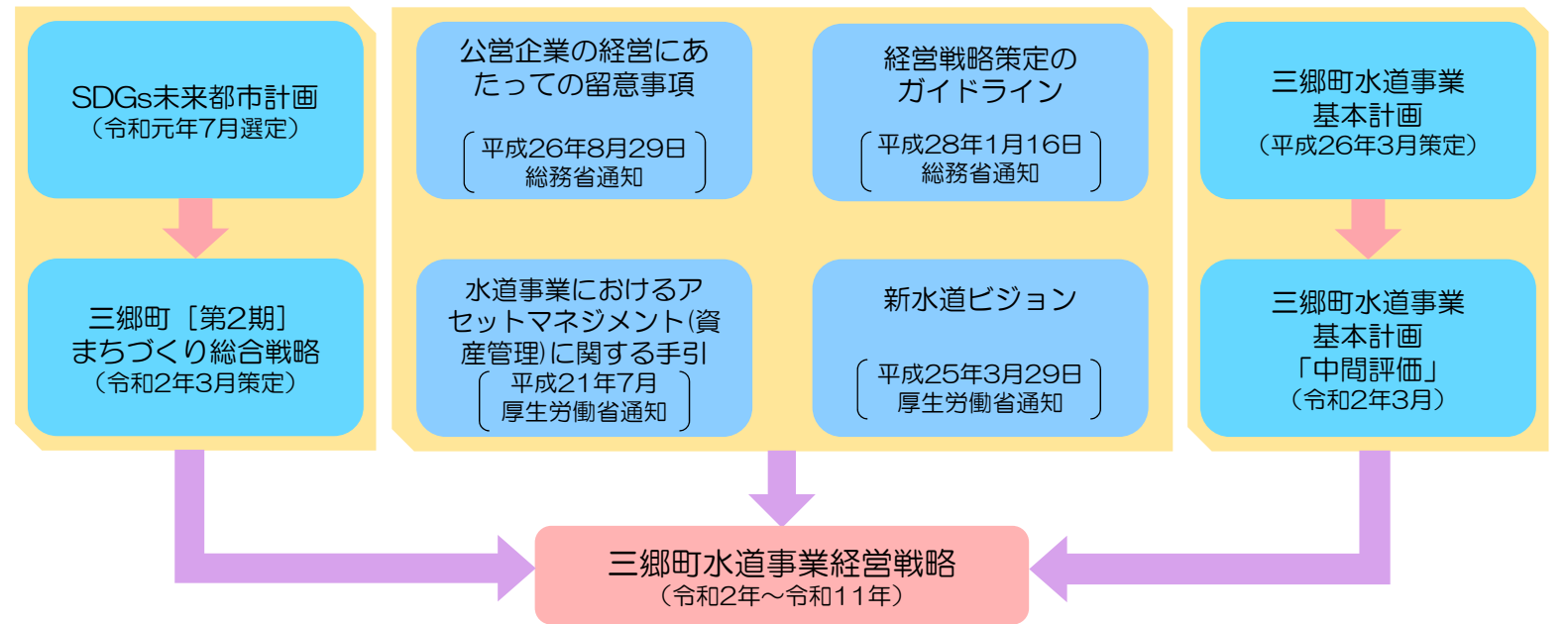
## 1. 策定の趣旨

平成26年3月に自己水源を有効活用するため、「三郷町水道事業基本計画」を策定し事業に取り組んで参りましたが、ダム原水の水質悪化や県域水道事業を取り巻く情勢の変化から、令和元年度より自己水源の全部を県営水道へ転換しました。

このような状況に対応し、水道施設等の計画的な更新を進め、施設や管路の健全性を維持していくためには、組織や事務事業の効率化・維持管理の見直しなど経営基盤の強化のための取り組みをより一層推進しなければなりません。そのためには、投資の合理化を前提とした水道施設の更新及び耐震化計画を踏まえ、「投資試算」と「財源試算」を均衡させる収支計画を策定し、中長期的な視野で事業経営に取り組んでいくことが重要です。

このため、県域水道一体化事業との連携を密にしながら、「三郷町水道事業基本計画」を踏襲し、スローガンである『安心と安全で未来へつなぐ三郷の水』の実現に向けて、「水道事業経営戦略」を策定するものであります。

## 2. 位置づけ



## 3. 現状と課題

本町水道事業は昭和33年4月1日より給水を開始し、現在は計画給水人口23,000人、計画給水量15,000m<sup>3</sup>/日、給水普及率は100%となっています。

一日平均使用水量と給水人口（過去10年間の実績）は、大きくは変動していませんが、今後は減少傾向になると予測されます。

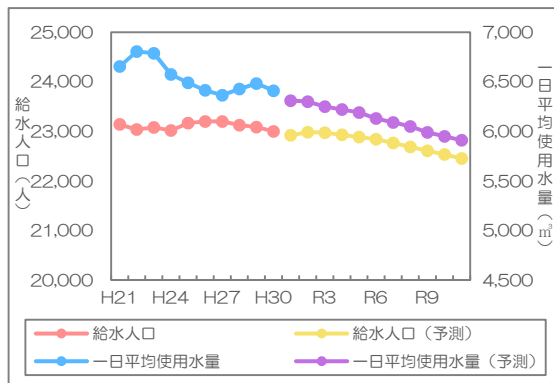
収益的収支は安定して推移していましたが、平成30年度の料金改定によりマイナス収支となっています。

県内市町村との比較では、配水池耐震化率、管路耐震化率は高くなっていますが、まだまだ低い状況にあります。

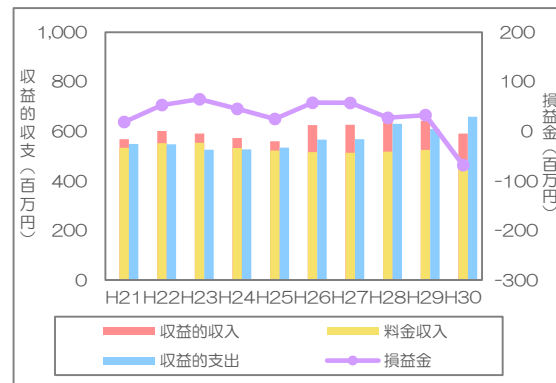
## 4. 経営戦略の基本方針

「三郷町水道事業経営戦略」は、「三郷町水道事業基本計画」を基に『安心と安全で未来へつなぐ三郷の水』を基本理念に、「水道水の安全確保」「確実な給水確保」「供給体制の持続」を目指すことを基本方針としています。

○給水人口・一日平均使用水量

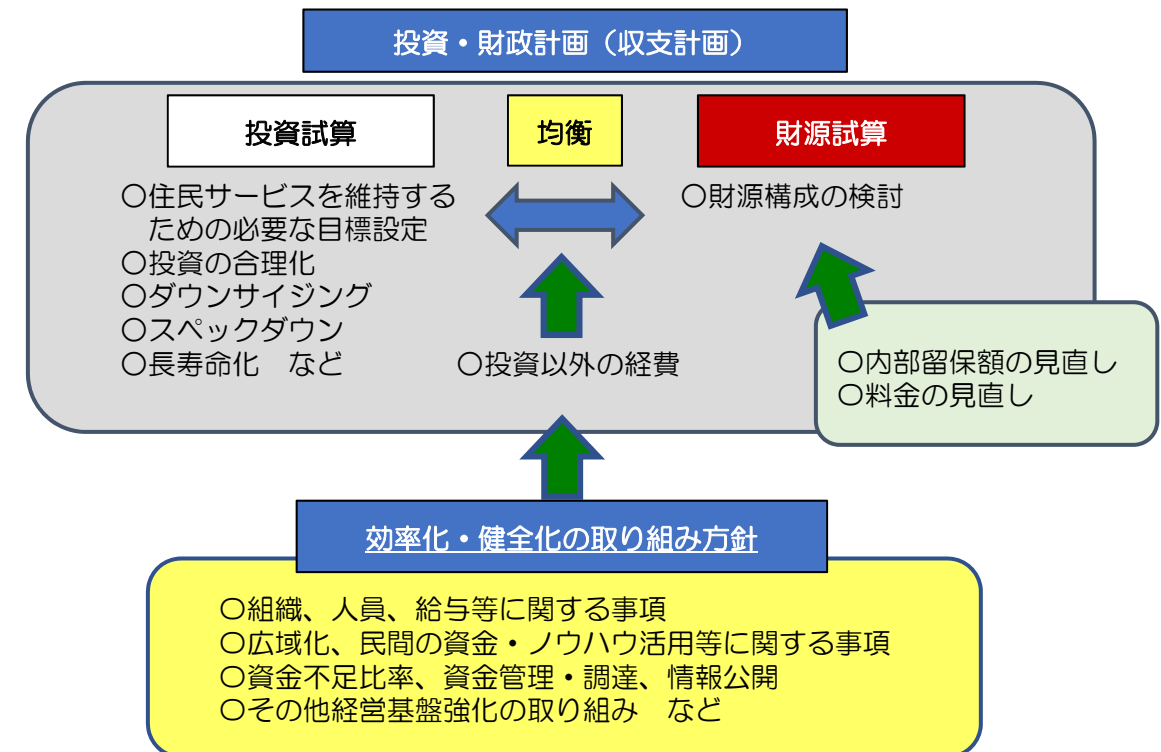


○経営状況



○水道施設の耐震化

| H30    | 計算式                                |
|--------|------------------------------------|
| 20.55% | (耐震対策の施された配水池有効容量 ÷ 配水池有効容量) × 100 |
| 3.83%  | (耐震管延長 ÷ 管路延長) × 100 (※R1決算 5.48%) |



# 三郷町水道事業経営戦略【概要版】

## 5.経営戦略目標

### 実施目標

#### 1.経営基盤の強化

- ★職員定数の適正化・人材育成
- ★民間資金・ノウハウの活用
- ★事業環境の整備
- ★料金体系の見直しと収率向上
- ★情報通信技術の活用
- ★資金の管理調達への取り組み
- ★施設整備の推進
- ★収率の維持・向上
- ★その他経営基盤強化の取り組み

#### 2.投資の合理化

- ★性能の合理化（スペックダウン）
- ★施設の廃止・統合（ダウンサイジング）
- ★施設の長寿命化
- ★新たな知見や新技術の導入
- ★広域化の推進

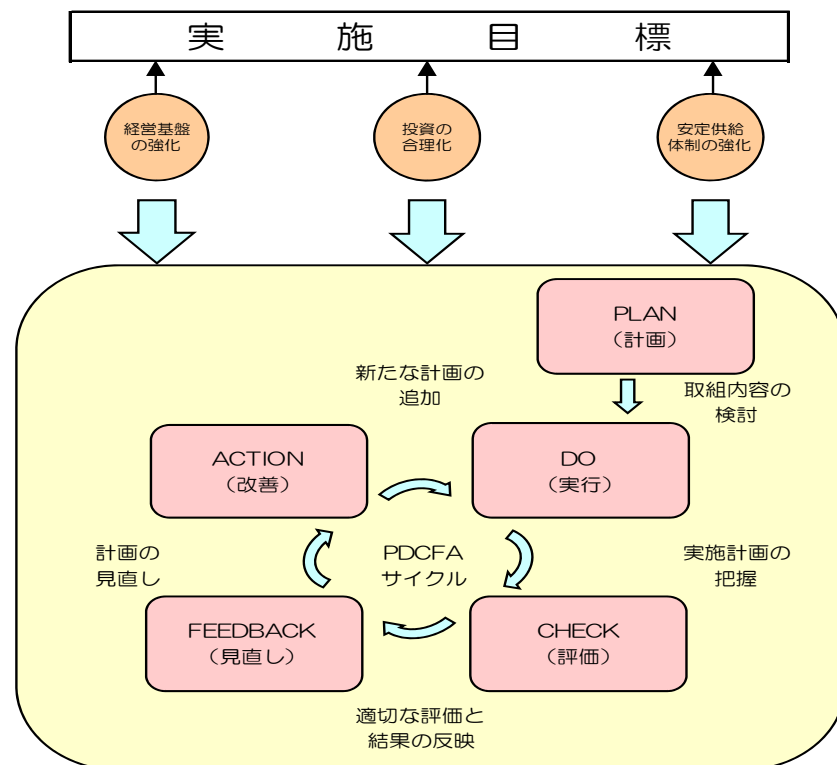
#### 3.安定供給体制の強化

- ★水質監視体制の強化
- ★危機管理体制の強化
- ★応急給水・復旧体制の確立

## 7.進捗管理

水道事業の進捗状況の管理は経営計画のもとにPDCFAサイクルの手法に基づき、事業の進捗状況や目標の達成状況について、検証・評価を行います。  
 次年度以降については実施状況を踏まえて水道事業経営戦略プランが確実に推進できるように、目標を着実に進行させることで施設実施計画の実現を図ります。  
 なお、進行管理を通じて5年毎に検証し、水道事業経営戦略の見直しを行います。

### 進行状況管理 PDCFA サイクル



## 6.投資・財政計画

### 既存施設の耐震化と財政計画について

- 配水池等の耐震化は、場内配管耐震化を進めていきます。
- 管路の耐震化は、重要管路を優先的に進めていきます。
- 建設改良費の大部分に企業債を充当しているため、起債額が年々増加していきます。
- 収益的収入は減少傾向にあり、年々損失額が生じているため、令和8～9年度に料金改定を予定しています。
- 令和11年度までは、年平均3億円強の建設改良投資を計画していますが、令和12年度以降は、施設の耐震化や緊急遮断弁の設置工事から配水管の耐震化工事に移行していくため、建設改良投資を年平均2億円に抑制していきます。おおむね5年毎の料金値上げを含めた見直しが必要となります。

### ○水道施設の耐震化事業費の見通し

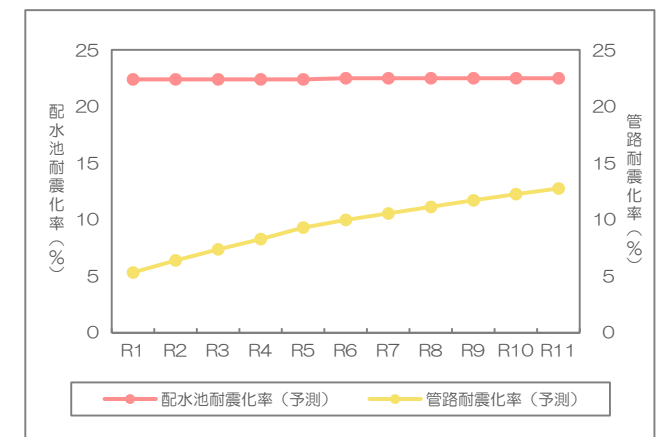
#### 配水池等の耐震化

|         | 令和2年～令和11年                           |
|---------|--------------------------------------|
| 勢野低区配水池 | 配水池補修・場内配管耐震化<br>緊急遮断弁設置<br>電気計装設備更新 |
| 勢野高区配水池 | 配水池補修・場内配管耐震化<br>電気計装設備更新            |
| 信貴ヶ丘受水場 | 管理棟耐震補強<br>配水ポンプ更新<br>電気計装設備更新       |
| 事業費(千円) | 587,700                              |

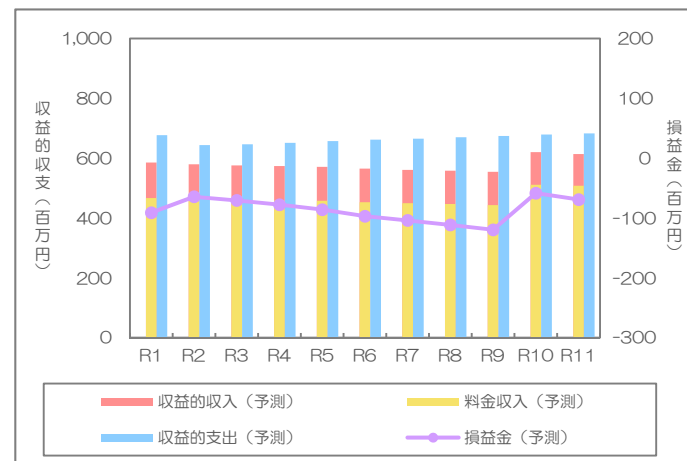
#### 管路の耐震化

|           | 令和2年～令和11年 |
|-----------|------------|
| 重要管路の整備延長 | 9,977m     |
| 事業費(千円)   | 2,683,351  |

### ○水道施設の耐震化の見通し



### ○投資・財政計画（収支計画）



### ○企業債発行額・企業債残高の見通し

